



Smile

第 19 号

JCHO 群馬中央病院
看護部 卒後臨床研修委員会
発行責任者 岡崎 友香
2018年3月29日(木)



年が明け2018年第1号の『Smile』です！早いものでもう一年が経とうとしています。新人は一人一人が成長し、責任のある仕事が多くなってきています。病院キャッチフレーズでもある笑顔で言葉をもって患者さんの身になれる看護師として、日々頑張り、笑顔で過ごしていますでしょうか。その中で、集合教育、ローテーション研修と有意義な時間を提供して頂き、看護に対する意識が高まったのではないかと思います。



災害時看護&退院支援&楽しいクリスマス会



《感想》災害看護&退院支援

- いつ災害が起きるかわからないため、トリアージがしっかり行えるようにしたい
- 災害マニュアルも日頃より把握しておけるようにしておこうと思った
- 大規模災害時には限られた物の中で医療する必要があり、トリアージの重要性を学ぶ事ができた
- 1人1人に必要な情報収集、アナムネ聴取等を行い、退院に向けての退院支援が行なえるようにしたい
- 経験のない事だったので難しく感じましたが、自分の家族にもいつか起こりうる事なのでとても良い学びになりました



薬剤管理&安全な人工呼吸器管理

《感想》人工呼吸器



- 呼吸器を正しく使えるようになり、安全な看護を患者さんに提供できるようにしていきたい
- アラームが鳴った際には、どうしてなっているのかを考え、適切に対応していく事が必要だと学びました

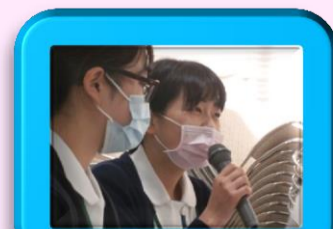
《感想》薬剤管理

- 自己注射の指導について学び、インスリンを打つタイミングについて、改めて理解する事ができたのでインスリン製剤はリスクのある薬剤であるため、投与方法が手順を理解して扱っていきたいと思う



《感想》ナラティブ

- 他者の看護体験を聞け、一人一人感じる事が違う事、また、そういう視点もあるのだなと思いました
- 自分が出会った体験を大事に次の看護にいかしていきたい
- 自分では体験できない場面の看護の話聞く事ができて、良い機会であった。初心に戻って看護をしていきたい



研修予定
3月 修了式

